

仙台西多賀病院

地域医療連携室だより vol.39

地域包括支援センターとの合同研修会を開催しました 平成28年2月26日(金)

当院を会場に、仙台西多賀病院、秋保・茂庭・山田地域包括支援センター合同研修会を開催しました。ケアマネージャーを対象に難病と認知症についての理解を深め、情報交換を行うことを目的として実施しました。

プログラム

- 1 「神経難病と認知症」
武田 篤 医師（仙台西多賀病院 院長）
- 2 「仙台西多賀病院もの忘れ外来の紹介」
橋谷田 由美 保健師（仙台西多賀病院 医療福祉相談室）
- 3 「難病支援の医療連携について」
佐藤 詩織 医療社会事業専門員（仙台西多賀病院 医療福祉相談室）
- 4 グループワーク テーマ：医療連携について



「神経難病と認知症」の講演では、代表的な認知症の概要、パーキンソン病とレビー小体型認知症との関係について講義いただきました。参加者は認知症の理解を深めることができました。

医療連携について事例を紹介した後、医療機関とのネットワーク強化のため、「医療連携」をテーマとしたグループワークを行いました。

近隣の病院連携室職員や居宅介護支援事業所から 56 名の参加があり、今後の利用者支援に繋がる充実した研修会となりました。
(保健師 橋谷田由美)

地域医療従事者研修会を開催しました

平成28年3月11日(金)

当院にて平成27年度第2回地域医療従事者研修会を開催しました。

「人工呼吸の取り扱い・トラブル対応を学びながら、地域と病院との連携を図る」

プログラム

- 【講師】 滝口 尚子 主任臨床工学技士（仙台西多賀病院）
太田 卓志 臨床工学技士（仙台西多賀病院）
- 【講義】①人工呼吸器の基本的な知識
②トラブル時の対応
- 【実技演習】実際の人工呼吸器体験
- 【意見交換・質疑応答】



実際に体にバンドを巻き、呼吸をしにくい状態にした上で、人工呼吸器を体験しました。

訪問看護ステーションやヘルパーステーション、通所施設等からの参加がありました。講義は、人工呼吸器の回路のしくみの紹介や、事例を通してトラブル時の対応について考える内容でした。実技指導では、人工呼吸器を装着し使用する体験、人工呼吸器の回路に触れる体験を行いました。

参加者からは「どのような時に、どのアラームが鳴るか具体的に考えられ分かりやすかった」「人工呼吸器の回路を外したことがなかったので、実際に外したり、その際の注意点などを聞いたりすることができて良かった」という声が聞かれ、有意義な時間となりました。（経営企画室 五十嵐未来）

～仙台西多賀病院の理念～ 「良い医療を安全に、心をこめて」

整形外科2015年の手術数は705例でした

日頃、病診連携室を通じ、数多くの患者さんをご紹介いただき誠にありがとうございます。

2015年の当院で行った整形外科手術は705例で2014年より約50例多い数でした。脊椎手術が624例、関節手術が81例でした。【図1】

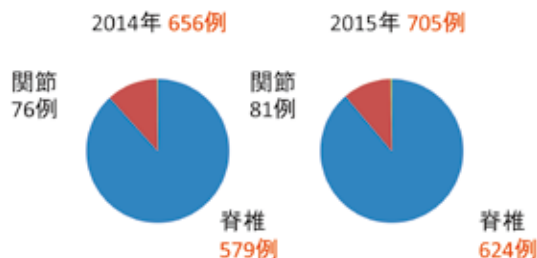


図1：最近の手術件数

手術患者さんから見る当院の診療圏は仙台市が約4割、仙台市以外の県内が半数、県外が1割弱と一昨年とほぼ同じ割合でした。【図2】引き続き、県内各所から多数の患者さんに受診あるいはご紹介いただきこの場を借りて感謝申し上げます。

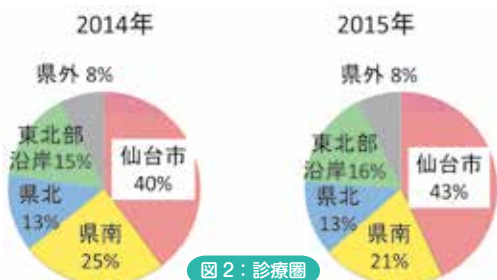


図2：診療圏

脊椎手術の件数は2013年（634例）に次いで多く、最近は年間600例前後で推移しています。【図3】脊椎手術患者さんの年齢層は60歳代・70歳代が最多で、70歳以上の患者さんが4割近くを占めています。【図4】当院は総合病院ではありませんが、一昨年から麻酔科医が2人体制となり、循環器科も常勤となったことにより、高齢の患者さんに対してもより慎重な術前評価の上、安全に手術に望む体制が整っています。患者さんの病状によっては他の施設に治療を依頼することもあります。以前よりその割合は少なくなっていると思います。

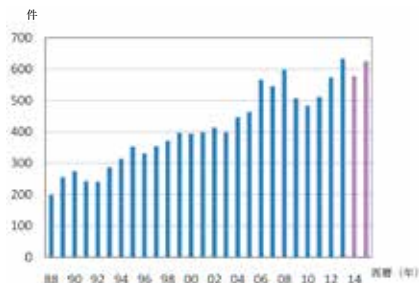


図3：脊椎手術数の推移

脊椎手術の高位は上位頸椎12例（2%）、頸椎155例（23%）、胸椎42例（6%）、腰椎415例（69%）で、腰椎手術が2014年

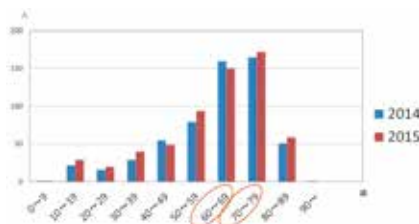


図4：脊椎手術患者の年齢層

統括診療部長
古泉 豊



専門領域

脊椎外科、外傷、整形外科一般
認定医・専門医
日本整形外科学会整形外科専門医
日本脊椎脊髄病学会脊椎脊髄外科指導医
日本整形外科学会脊椎脊髄病医

（355例）よりかなり増加しました。

【図5】当院の特徴の一つである側弯症手術は25例と

2014年（12例）よりかなり多く行われました。一方、もう一つの特徴である上位頸椎の手術は12例で2014年（24例）より大分少ない件数でした。これは関節リウマチの薬物療法の進歩（1999年メトトレキサートが承認、2003年以降多数の生物学的製剤が承認）によるリウマチ頸椎病変（環軸椎亜脱臼）の減少が影響していると考えられます。【図6】その他では、頸部神経根症に対する手術、MED（内視鏡的ヘルニア摘出術）などが増加傾向にあり、再手術例も比較的多く経験しました。

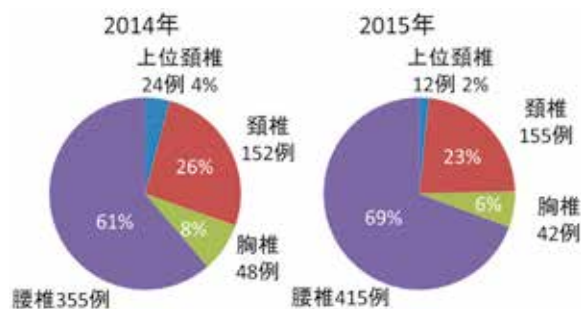


図5：脊椎手術の高位



図6：リウマチ頸椎手術件数の推移

当院の役割についてですが、側弯症、上位頸椎疾患、高度不安定性例、再手術例など専門的で難易度の高い手術に対して、県内外の患者さんの治療を担って行く一方で、周辺地域の患者さんや医療機関に対しては、身近で気軽に相談できる病院でありたいと思っています。新患者の予約制や入院・手術の待機期間において、ご迷惑をおかけしている点があると思いますが、病状によりできるだけ早く受診していただける様努めておりますので、遠慮なくご相談ください。安全で安定した治療を優先するため、術前検査に時間を要することがありますが、できる限り治療期間を短縮するよう努力しております。今後も地域の患者さんと医療機関の先生方から信頼をいただき、更に発展していける様努力してまいりますので何卒よろしくお願い申し上げます。

当院ICT活動のご紹介

病院内の感染対策、さらには他病院のICTと連携を図り、地域の感染対策推進に取り組む感染対策チーム(ICT)のご紹介です。

感染対策チーム(infection control team, ICT)は、当院の感染対策委員会の下部組織として、感染対策室とともに「実働部隊」と位置付けられます。委員長・室長の指導の下、医師、看護師、臨床検査技師、薬剤師などで構成されています。このような幅広い職種に、豊富な知識と経験を有するスタッフが在籍し、さらに、ICD(infection control doctor)、ICN(infection control nurse)を2名ずつ擁しております。現在、その全員が兼任となっており、活動時間の確保が課題ですが、人材は豊富でかつ士気は高いと自負しています。

一言に「感染対策」といっても、ICTの役割は多岐にわたります(図1)。

当院の特色として、内科系では神経難病の高齢者のほか、筋ジストロフィー病棟と重症心身障害児(者)病棟が複数あり、比較的医療処置の必要性が高い患者さんが多数入院しています。このため、病院感染対策は最も重要な任務の一つです。近年、わが国でも耐性菌の蔓延や、アウトブレイク例が報告され、中には不幸な結果となった事例も散発しています。このため、ラウンドや、抗菌薬の投与状況の把握など、当院でもICTの業務量は増加の一途をたどっています。外科系では整形外科が活発に手術を行っており、手術部位感染の対策とサーベイランスが欠かせないものとなっています。

また病院感染対策には、すべての職員が正しい知識と技術をもつことが必要です。ICTは院内の感染症や環境の監視のみならず、手指衛生や感染防御、予防接種などの職員への教育に携わると同時に、医師や各部門からのコンサルテーションにいつでも応じる体制を心がけております。

さらに、2012年度から仙台赤十字病院および仙台医療センターのICTと連携して定期的なカンファレンスを行い、最新の知識・情報の交換に努めております。そして今後ますます、地域の感染対策を進めるために、近隣の先生方と連携を深めていくことが重要と考えます。当院のICTが先生方のお役に立つことができれば私共にとりましても大きな喜びです。感染対策のちょっとした疑問点など、スタッフにお気軽にご相談ください。

そのためにも、感染対策に専念するスタッフをおいていただくことを、私は目標の一つとしております。実現に向けますます努力いたします。

神経内科医長
田中 洋康

専門領域

神経内科一般、内科一般

認定医・専門医

日本神経学会専門医

日本内科学会総合内科専門医

ICD 制度協議会 ICD



図1

コンサルテーション
感染症治療、感染対策の
相談と指導など

教育・啓発
マニュアル整備、講習会、
院内ラウンドなど

ICT

アウトブレイク対応
多剤耐性菌
流行性ウイルス疾患など

院内環境
医療環境・機器整備の適正化
廃棄物管理など

サーベイランス
感染症発生、臨床分離菌
抗菌薬・手指衛生状況など

ワクチン接種終了後の1コマ



新人看護師技術研修を開催しました

平成28年4月6日(水)～7日(木)



4月6・7日の2日間、新人看護師の技術研修を行いました。不安や緊張が多い中、共に入職した仲間が集まり演習を行いました。はじめは緊張した表情でしたが、徐々に緊張もほぐれ笑顔が多くなっていきました。

21名の新人看護師一人ひとりが「心のこもった確かな看護を実践できるように」「看護師として、人として成長できるように」看護部はもちろん、仙台西多賀病院職員全員で温かく見守っていきます。

『安心して下さい！皆さんのことを支えます!!』

(教育担当看護師長 吉田 真由美)



書籍のご紹介

「パーキンソン病実践診療マニュアル」

2016年1月、仙台西多賀病院の神経内科医師等が共同で執筆した「パーキンソン病実践診療マニュアル」が中外医学社から出版されました。パーキンソン病の病態と診断、治療法についてわかりやすく解説されています。

ご興味のある方はぜひご参考にして頂ければ幸いです。



パーキンソン病 実践診療マニュアル

武田 篤 編著

中外医学社 A5判 280頁
定価(本体4,600円+税)

執筆者一覧(当院関係職員分)

武田 篤 院長	谷口 さやか 医師
高橋 俊明 内科系診療部長	永松 謙一 医師
吉岡 勝 臨床検査部長	馬場 徹 医師
大泉 英樹 神経内科医長	金原 禎子 医師
田中 洋康 神経内科医長	相沢 祐一 医療社会事業専門職

お越しいただいたボランティア活動より 太白あじさい オカリナコンサート

素敵な演奏をどうもありがとうございました

うららかな春の日差しが差し込む3月23日(水)、南2階ホールに優しい音色が響きわたりました。昨年結成して10ヶ月のメンバー9名と先生のオカリナ生演奏です。その1名が当病棟の看護師であり、彼女の声掛けで今回のコンサートが実現しました。曲目は「エーデルワイス」「上を向いて歩こう」「春の小川」他全6曲を演奏していただきました。患者さんは「選曲もいいし、とても癒されました」とご満悦！そしてアンコールの手拍子も喝采！楽しいひとときとなりました。(保育士 近藤 順子)



就任のご挨拶



内科系診療部長 神経内科 高橋 俊明

平成 28 年 4 月 1 日付けで内科系診療部長を拝命しました。専門は神経内科ですが、これを機会に当院の内科系全般を広く見渡していきたいと思っております。引き続き地域医療連携室長も兼任していますので、こちらのほうもどうかよろしくお願いいたします。

よろしくお願いいたします

平成 28 年 4 月 1 日採用

- ① 職名 氏名 ② 専門領域
③ 認定医 専門医 ④ ひとこと

医師の異動



- ① 小児科医長 一戸 明子
② 小児科一般
③ 日本小児科学会小児科専門医
④ 4 月より重症心身障害児（者）病棟に勤務させていただくことになりました。どうぞよろしくお願いいたします。



- ① 整形外科医師 八幡 健一郎
② 脊椎外科・外傷・整形外科一般
③ なし
④ 東北大学大学院を卒業し、4 月から赴任しました。皆様のお役に立てるように精進いたします。よろしくお願いいたします。



- ① 整形外科医師 川上 純
② 椎・肩・スポーツ・外傷・整形外科一般
③ 日本整形外科学会整形外科専門医／日本体育協会公認スポーツドクター
④ 4 ヶ月という短い期間ですが、できる限り貢献できるように頑張りたいと存じます。どうか、よろしくお願い申し上げます。

お世話になりました

平成 28 年 3 月 31 日付

- 辞職 整形外科医師 小笠原 将教
整形外科医師 衛藤 俊光
整形外科医師 芦名 善博

パーキンソン病 市民公開講座を開催します

共催：国立病院機構 仙台西多賀病院／アッヴィ合同会社
後援：一般社団法人 全国パーキンソン病友の会宮城県支部

パーキンソン病 市民公開講座

日時 2016 年 7 月 30 日（土） 13:00～15:00

会場 仙台国際センター 会議棟 2 F 「橘」

総司会 武田 篤 先生（仙台西多賀病院 院長）

講演 「パーキンソン病の症状と治療」

野元 正弘 先生

（愛媛大学大学院医学系研究科
薬物療法・神経内科学 教授）

「パーキンソン病の外科治療」

永松 謙一 先生

（国立病院機構 宮城病院 脳神経外科医長）

質疑応答 回収致しました質問票を元にお答えいたします。

参加無料 定員 250 名

事前お申し込み受付（必須）

FAX: 022-243-2530 MAIL: kanri2@nishitaga.hosp.go.jp

記載事項：氏名・連絡先 TEL・参加人数

（担当：仙台西多賀病院 管理課 庶務班長）

申込み期限：平成 28 年 7 月 29 日（金）

お知らせ



平成 28 年 4 月 1 日より、当院ホームページをリニューアルいたしました。ぜひご覧ください。



仙台西多賀病院

検索

地域医療連携室より

ごあいさつ

地域医療連携係長 菊地 操子



平成 28 年 4 月より、前任の地域医療連携係長大友裕美に替わり配属になりました。初めての連携室業務で不慣れなことが多く、皆様にはご迷惑をお掛けすると思っております。地域の関連部署の皆様や多職種との連携をはかり、在宅復帰のための不安を少しでも和らげられるようお手伝いしたいと思います。何卒、ご意見、ご指導のほどよろしくお願いいたします。

…………… 新しいスタッフが増えました ……………

どうぞよろしくお願いいたします



地域医療連携係
伊藤 規子
（地域医療連携室）



医療社会事業専門員
柿原 愛
（医療福祉相談室）

◎ 仙台西多賀病院の外来は予約制です。

外来担当表

区 分			月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
整形外科	せぼね	新患	古泉 豊	川原 央			国分 正一
		再来	国分 正一	国分 正一	川原 央	古泉 豊	国分 正一
				両角 直樹		三宅 公太	
				八幡 健一郎			
	関節	新患			田村 則男 (第1・3・5週)		
		再来			大出 武彦		田村 則男
	せぼね・関節		須田 英明	須田 英明	須田 英明	須田 英明	
	側弯症						両角 直樹 ※1
神経内科	新患	東北大学医師	高橋 俊明	武田 篤	吉岡 勝	金原 禎子	
			田中 洋康		大泉 英樹		
	再来	武田 篤	吉岡 勝	高橋 俊明	大泉 英樹	田中 洋康	
					金原 禎子		
内 科			三浦 明	三浦 明 苅部 明彦 (循環器専門) ※2	長崎 明男 (第2・4週)		三浦 明
リウマチ内科				齋藤 輝信	齋藤 輝信	齋藤 輝信	
小 児 科			(午後) 小林 康子 (成長発達)	小林 康子	小林 康子 (乳児健診・予防注射)	(午前) 小林 康子 (午後) 大村 清 (小児筋神経)	
脳神経外科			永松 謙一 (第1週) ※3				
泌尿器科				大原 英一郎		武弓 俊一	
遺伝カウンセリング							(午後) 苅部明彦または 高橋俊明※2
もの忘れ外来※4			大泉 英樹	田中 洋康	馬場 徹	武田 篤	金原 禎子
禁煙外来					武田 篤	苅部 明彦	
歯 科							佐藤 敦 ※5

平成28年5月1日 現在

※1 脊柱側弯症の新患患者様のご紹介は、側弯症外来日（金曜）にお願い致します。

※2 内科火曜日の循環器専門外来及び金曜日の遺伝カウンセリング外来は完全予約制です。

※3 脳神経外科は主にパーキンソン病に関連した診療を行っています。

※4 もの忘れ外来は診療情報提供書が必須で完全予約制です。

※5 歯科外来は主に入院患者の診療を行っています。



独立行政法人国立病院機構

仙台西多賀病院

〒982-8555

宮城県仙台市太白区鉤取本町2丁目11-11

◎ 電 話：022-245-2111(代表)

◎ FAX：022-243-2530

◎ URL：http://www.nishitagahosp.jp/

地域医療連携室(直通)

◎ 電 話:022-245-1810

◎ FAX:022-245-1811

発 行／仙台西多賀病院地域医療連携室

発行責任者／地域医療連携室長 高橋 俊明

※仙台地下鉄を利用して来院される場合は八木山動物公園駅または長町南駅をご利用ください。

※東北道を利用して来院される場合は仙台南ICをご利用下さい。
(東北道～山田ICまたは、山田IC～東北道はご利用できません。)

